

ENERGY & ELECTRICITY

区有楽町1-7-1

☎03(3211)1551/編集 03(3211)1558/総務・企画
03(3211)1555/出版 03(3211)1550/購読・広告

総局 西部 大阪市北区中之島3-6-16 ☎06(6444)4301
中部 名古屋市中区栄2-2-5 052(202)0550

支局 北海道(札幌) ☎011(2) 東北(仙台) 022(2)



アプリで演奏を変化

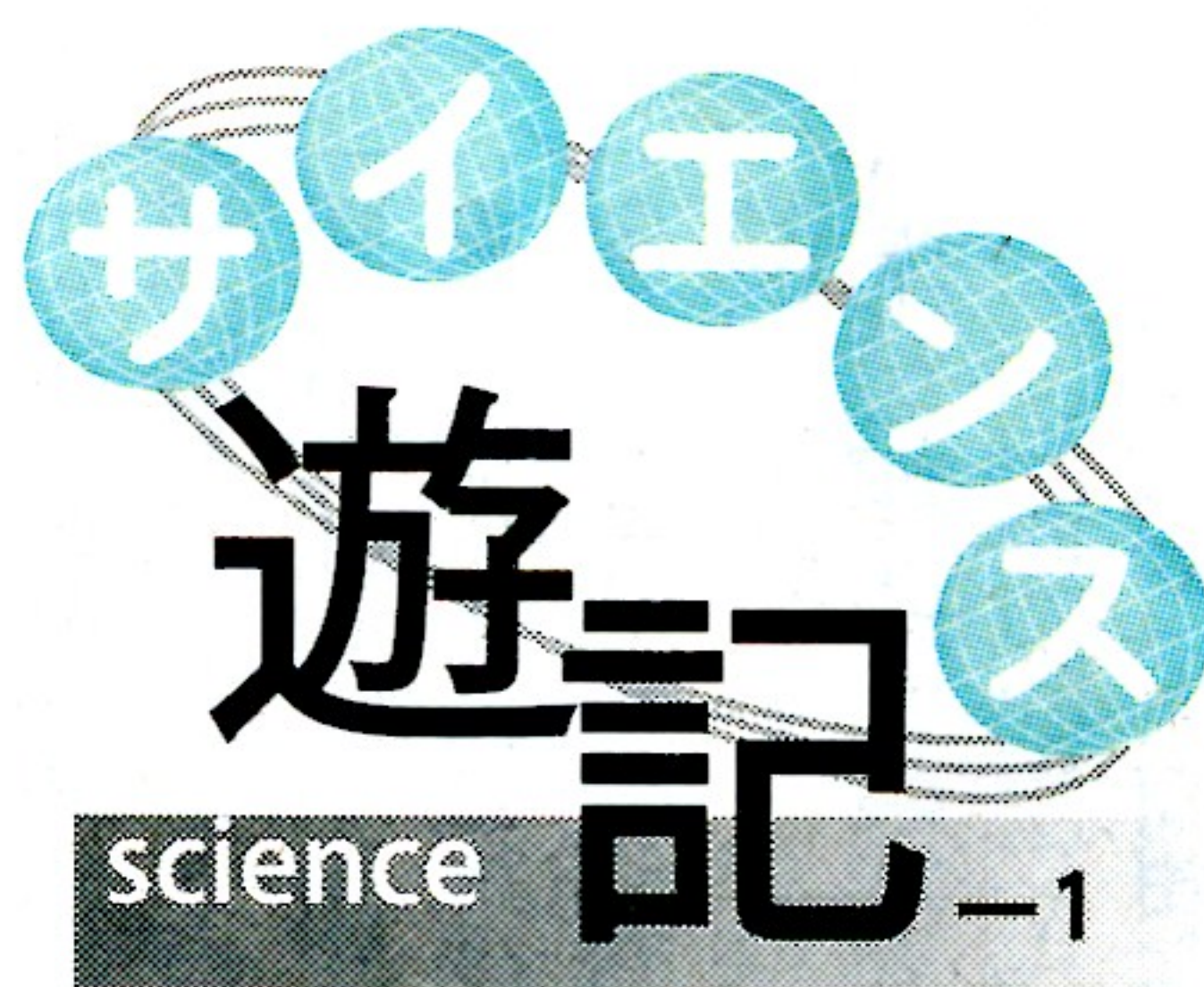
「モーフィング」という言葉を知ったことがあるだろうか。コンピューターグラフィックス(CG)技術の一つで、ある画像を別の画像に滑らかに変化させることができる。映画『ターミネーター2』に登場する液体金属製アンドロイドの描写に使われ、一躍注目された。最近ではテレビコマーシャルなどでもよく見かける。

同じことを、映像ではなく音楽でやったらどうなるか。その答えが、筑波大学音楽情報処理研究室の浜中雅俊博士が開発した「メロディモーフィング」だ。この技術を活用したiPhone、iPad用アプリ「シークギター」



浜中 雅俊氏

筑波大音楽情報処理研究室



「実用の前に、まずは音楽を楽しめる環境づくりに貢献したい」とは浜中氏の弁。アプリという形で研究成果を積極的に外に出しているのもそうだった。

「研究テーマの中には、「バンドナビ」というアプリもある。こちらは、メンバー交代やゲスト出演などバンド同士の交流をたどる形で楽曲を検索できるというもの。ウェブ上から関連する情報を収集し、精度の低い情報をほじいた上で、バンド間の人的ネットワークを構築する仕組みだ。こうした「音楽情報処理」の研究は、まだ歴史が浅い。

07年に浜中氏が研究室を立ち上げた時、国立大で「音楽情報処理」の名称を掲げた研究室はほかになかったという。未開拓の分野だからか、研究室の雰囲気もどこか自由だ。学生たちは自らの好奇心に従い、それぞれの研究テーマに取り組んでいる。浜中氏は、「学生と一緒に、この分野を少しずつ広げていきたい」と語った。(文〓佐藤 輝/写真〓河上 瑞穂)

先人たちが研究を積み重ねてきた結果、現代の科学は複雑になり、細分化され、素人にはとっつきにくいものになっている。しかし本来、科学の原点は素人の素朴な好奇心にあるはず。本シリーズでは、現代の科学の中からすくい上げた「センス・オブ・ワンダー」を紹介する。(随時掲載します)

動き一つでメロディー自在に